

# 童

2017年3月17日

三寒四温 まさにこんな日々が続いています。昨年に比べると、雪が多く残っています。毎年、出会いの会の週は、スロープが乾き、そこで春の日差しを浴びながらお弁当を食べる光景が、この何年かは続いていました。それが、今年は、久しぶりにまだそり遊びが楽しめるほどの光景です。それだけに、まだ毎日スキーウェア姿が見慣れた普通の光景だけに、卒業のシーズンがピンときません。大地は、卒業式の練習も準備も子どもたちはしないので（話題もない）、日々、淡々といつものように、その日その季節、そして目の前の現在に全力でエネルギーを向けて暮らしています。

先日の親子作業日ありがとうございました。例年、父親だけの作業で環境整備をして、冬から春のそれへと衣替え作業をしてきましたが、今年は、4月末の森の親睦会作業にて幕開け、春の終了親睦作業で終わるという事になりました。この時期、子どもたちが親が、どんな作業お手伝い出来るかと考えましたが、毎年リンゴの剪定枝のチップ作業、まさにびったり、しかも、いつもクロカンで遊んでいたリンゴ畑、まるでクロカンをしているように、雪の上を縦横無尽に動き回り、見事に片付いてしまいました。まさに、この日は、大人も子どもも皆、労働に打ち込んだ時、見ているだけで、働く という光景でした。それだけに春の日差しを浴びた昼食、そして、肩肘張らないしかも何気なくやりながら質の高い隠し芸など、何事も全力投球で感激した時間でした。

卒業シーズンや各種行事は、あくまでも大人側の精神的なけじめの要素が強く、幼児の幸せは、普段の変わらないリズムで、その時その季節を信頼のおける大人と安心して暮らすのが最上の幸せです。大地は、常にこの精神、この立場で幼児の前に立ち、幼児の心の側に沿って、日々の暮らしを淡々と最後まで保証してあげたいと思っています。最後の最後まで、日焼けした顔で、ドロドロのスキーウェアを着て、今年は遊ぼう！！



## 【波のいい日は、海へ行こう】

今年は、例年以上に子どもたちの顔が黒いです。まさに、雪焼け。それもハワイ帰りのこんがりした黒さではなく、ズブ黒いごつごつした黒さ。側で見ると、「何でそんなに黒いの??」と、誰でも聞きたくなる黒さです。日誌をめくってみると、今年は、ほぼ完璧に毎日、雪でも嵐でも必ず外で遊んでいた日々でした。出ない日がないという毎日でした。天気が悪くても悪くても、雪の反射で日焼けするのでしょうか。それとも、晴天の日に黒く焼け、寒い日に、焼けた肌にはひび割れるという繰り返しだったのでしょか。とにかく、大地の環境をコンスタントに満喫した成果が、まさに今の顔なのでしょう。

青ちゃんは、毎日子どもたちと外で過ごしたわけでもなく、特に年末年始から室内の作業や環境のリフォーム、そして、安楽椅子（ロッキングチェア）での冬の夜長の読書で、今冬の突入したので、顔は黒くはなっていないと思っていましたが、お風呂で顔をゴシゴシ擦っても（日頃は、髭も剃らないので）、黒い！！ 子どもと同じように目から下が黒い、例年と変わらずに黒いのです。外で遊んでなくても黒い?? 遊ばなくても（いつもそれ自体が遊びですが）、除雪作業、ガンガーでの作業（このガンガーのおかげで通年、木工作業などが出来る、冬は寒い）、そして、スキー教室、それに、大地の行事（今年は、天気にも恵まれた確率が高かった）の晴天率のせいで、焼けたのでしょ。

アウトドアウェアで有名なパタゴニアの企業精神。「波のいい日は、海へ行こう」 仕事をしていても、いい波が来たら、仕事を放り出して（中断して）、サーフィンに行こう。波を気にして、自分の大好きなことを気にしながら、中途半端に仕事をするよりも、大好きな事を満喫して、常に心身共に充足して仕事や暮らしを堪能した方が、いい仕事や熱中して（フローになり）取り組める事ができるということです。仕事を中断しても、大好きな事をしてきた後だから、気合いも入るし、プロジェクトマネジメント（自分の仕事調整）とセルフマネジメント（自律）能力も高まり、仕事も出来るし、周囲の仲間とも相互扶助（お互いに好きな事を認め合い実行している）も出来、限られた時間、日々を、自分なりにマネジメントして、質の高い暮らしが出来るというものです。確かに、山小屋で毎年働いている人たちに、パタゴニアに勤めている人が多いという話をよく聞きます。2ヶ月間位休みをとって、大好きな事、仕事をしてもらいたいのです。

青ちゃんの大人子どものスキー教室も、スケジュールを決めることもなく、天候と空いた日を考えて、気ままに決めてきました。全て、昼食は、野外で作って食べる事が基本なので、天気は欠かせません。夏のキャンプさながら、リフトの下、駐車場、丘の上など、キャンピングテーブルセットが出現し、湯気が上がる昼食が、いつも展開されていました。天気の急変の時でも、車内で炊飯器が稼働し、無料休憩所の片隅で、小型バーナーが活躍しました。今年は、天候の読みがほとんど当たり、スキー教室も、ほぼ晴天率が高かったです。というよりも、天気のいい時を見つけて、選択したからでしょう。まさに「いい雪の時は、スキーに行こう」です。自然に恵まれた長野の素晴らしい所は、海も山などのフィールドもとても身近にある点です。その朝の天気を見て、行動出来る位の好立地条件です。常にさっと出勤出来る準備と機動性とプロジェクトマネジメント能力を高めておけば、天気を見て、自然の好条件を逃さずに行動出来ます。

お店屋さんごっこは、まさに セルフマネジメントとプロジェクトマネジメント能力を高める絶好の機会でした。まず、時間を作り、早起きするなりして、準備しなければなりません。これは、自分の時間を律するセルフマネジメント能力です。そして、お店屋さんを開店するまでの段取り（ポスター 環境設定、くじ引きや服装 レジ作り、そして、メニュー設定、買い物、調理 片付けなど）などのトータルした企画能力（同時進行してやっていく能力も）すなわち、プロジェクトマネジメント能力も必要となります。室内でしたから、天候には左右されませんが、これを野外でやるとなると、更なる天候に応じた柔軟性が求められます。余談になりますが、年長児とアカデミーによるお店屋さんごっこはすごかったです。それを書けば、この童は、その記事でいっぱいになってしまいますので、やめておきます。

パタゴニアの精神に戻りますが、機動性のある仕事（いつでもサーフィンに行けるようにしておくには）をするには、いつそうなるでもいいように、日頃からそれに備えて、仲間との連携や相互扶助ネットワークを作っておく以上に、仕事をきっちり先を見てマネジメントしておく（先取りや重要事項などを決済しておくなど）事が、重要だということ。まさにその通りですね。

子どもたちや家族との自然の中での暮らしもそうですね。自然に恵まれた長野での暮らし、自然の予測はつきません。いつ、いい雪が降るか、いい風 花 空気 青空 虫 空 虹 山、光景が広がるか 未知であり、それが、いつ、突然やってくるか・・・・。それを柔軟に幸せに享受して、長野の特権を味わうか。それは、私たちの日頃の備えとプロジェクトマネジメント能力。そして、柔軟性でしょうね。

子どもたちは、柔軟性の塊です。この子どもたちに、頑ななプログラムを大人側が堅い頭で与えると、確実に、こどもの笑顔が消えます。森友学園・・・・子どもたちが心配です。